

# 令和元年度 学校評価書

山形県立鶴岡南高等学校

## 達成度

A：目標をはるか大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重点目標	達成度	成果(○)と課題(●)	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
教務課	SSH指定校としての教育課程の円滑な運用に努める。特に、研究開発校として学校設定科目における教材開発や評価方法を支援する。	C	○PTA参観・教育実習・一日体験入学等の授業公開の機会が多くあり、各教科での教材開発や授業研究が進んだ。 ●家庭学習が習慣化せずに成績低迷にある生徒がおり、不登校などの二次的な影響がでないよう指導や配慮が必要である。課題の量と質の調整が課題に残った。 □昨年高校入試の処理方法が刷新され、今年是小変更となる。昨年の課題を踏まえて適正に業務を進める。	C ・宿題が多すぎるといふ生徒の声があります。調整してください。入選システムについて課題ありとなっていますが、ミスのないように。 ・引き続き、SSH指定校としての充実を図って欲しい。 ・学校で使用する電子システムについて、安全面及ぶ運用面を考慮し、常にソフトなどの更新ができるように、県に要望して欲しい。
	学年や教科、部活動と連携して、生徒にメリハリのある生活を送らせ、家庭学習を充実させる。また、課題の量と質について最適化を図る。	D		
	新学習指導要領への移行に向けた授業改善のための校内授業研究と評価方法の研究を進める。	C		
	成績処理、指導要録、高校入試処理等の電子化システムについて、安定運用のための改善を進める。	C		
	教務内規等、改善が必要な業務の見直しを図るとともに、業務の精選を検討する。また、高校入試における業務の最適化を図る。	D		
進路課	早期の進路希望確立を目的として、1,2学年のうちから大学オープンキャンパスへの参加を積極的に勧める。夢ナビライブに1学年生徒全員と2学年生徒の希望者が参加することで、進路希望の早期確立を促す。	C	○センター試験では、総合で県内2位、上位層も多く健闘してくれた。国公立の推薦でも11名(弘前1名、国際教養1、東北2名、山形2名、東京学芸1、電気通信1、横浜国立1、新潟1名、新潟県立1名)合格出来た。 ○6月実施予定だった企業説明会・起業セミナーは地震のため中止となったが、1月にキャリア教育の一環として、1年生対象に伊藤麻衣子氏より講演していただいた。	C ・進路選択において様々な方法の提示を頂いていると思います。 ・次年度における最大の関心事である大学入学共通テストに向けた対策の充実をお願いしたい。
	キャリア教育の視点に立ち、職業観の育成や将来専攻する学問分野の決定を目的として、社会人や大学教員を招いての講演会や模擬授業を年2回以上実施する。	D		
	超難関大学・医学部医学科10名以上、難関大学20名以上、国公立大学140名以上の合格達成に向けて取り組む。	C		
	SSH事業、進学指導重点校学力向上推進事業を効果的に進路指導に活用する。	C		

生徒課	日頃からの生徒指導をおし、“問題行動0、交通事故0、いじめ発生0”を目指す。	C	<p>●大事には至らなかったものの交通事故の件数が多く、今まで以上に注意喚起が必要。</p> <p>○生徒会が中心となって円滑に学校行事が進められた。</p> <p>○アーチェリー部、水泳部、卓球部、科学部、少林寺拳法（設置外活動）が全国大会出場。</p>	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無施錠、鍵なしなど平和慣れしている現状をも指導してください。</li> <li>・事故に十分注意するようにしてください。</li> <li>・充実した学校行事だと思います。</li> </ul>
	生徒会行事において、全校生徒の8割以上が達成感をもてる内容を目指す。	C		
	ロングホームルーム活動計画に「自他の生命の尊重」「心の豊かさ」等の心の育成につながる内容またはボランティア的な企画を、年間1回以上組み込む。	D		
	部活動において全国大会へ団体3種目以上、個人5名以上の出場を目指す。	C		

達成度

A：目標をはるか大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重点目標	達成度	成果（○）と課題（●）	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
総務課	「PTAの日」をはじめとするPTA独自事業に、より多くの参加が得られるような工夫を行う。また、PTA役員とのより良い連携のあり方を研究する。	C	○「PTAの日」の参加者が380名(63.9%)で目標の6割を達成できた。また、保護者による朝のあいさつ運動などで成果をあげた。○災害時の連絡体制を「マメール」という民間企業に委託し、順調に運用されている ●保護者アンケートは75.1%の回収率で8割に達しなかったが、評価は良好で会った。 ○校内倫理委員会を2回開催し、倫理観・規範意識の涵養や資質の向上に努めた。	C ・PTAの日の参加率6割を頑張っていきたい。 ・学校評価のあり方を引き続き研究して欲しい。 ・家庭教育力、地域教育力の醸成に向けた取り組みをPTAと一緒に検討して頂きたい。
	防災マニュアルの定着をはかり、より実効性のある危機管理体制の構築を目指す。緊急時における職員間及び生徒・保護者との連絡体制については、業者委託を継続し、未登録者の減少に努める。年2回の防災訓練により生徒教職員の危機管理意識の向上を図る。	C		
	学校評価のあり方（実施時期、分析方法、活用方法など）を検討し、8割以上の回収率を目指すとともに、校内反省会とのより効果的な連携のあり方を研究する。	D		
	年2回の校内倫理委員会を通じて教職員の倫理観・規範意識の涵養をはかる。	C		
保健課	産業医との連携を強化し、職員の健康障害の防止及び健康の保持増進に努める。	C	○産業医と連携し、職員の健康の保持増進に努めた。 ○インフルエンザや風邪の感染拡大を防ぐため、必要な措置を行った。 ○関係医療機関やスクールカウンセラーと連携しながら、該当生徒の支援を行った。 ○各分担区の清掃を確実に行うことができた。 ○保健だよりを確実に発行し、生徒に適切な情報を提供した。	C ・新型コロナウイルスについても動向を見守り、情報収集して欲しい。 ・心身両面の健康をサポートして欲しい。
	感染症防止のため、必要な情報や対策を教職員や生徒に提供する。	C		
	MC委員会を適宜開催し、メンタルケアに努めるとともに、学校カウンセラーや教科・学年担任団・家庭との連携を図り、該当生徒に適切に対応できるようにする。	C		
	清掃活動を徹底し、学習環境を整える。特に夏季休業中は特別に分担区を指定し、校舎内の美化に努める。	C		
	「保健だより」を隔月発行し、生徒に健康情報を提供する。	C		
図書情報課	SSH・鶴南ゼミにおける図書・視聴覚教材・教具の効果的な活用を研究し、環境を整備する。	C	○生徒の図書の貸し出し数が、昨年比578冊増加した。 PTAと同窓会から図書費への多大な支援をいただいた。 ○ほかの図書館との連携も図りながら、ゼミからの要望にできる限り対応した。 ○LHRの時間を活用し、夏季休業中に課題として各種コンテストに応募できた。 ○SSHの多彩な活動を発信できた。 ●図書費が削減された。	C ・図書費が削減される中で、インターネット等を利用するリテラシーも充実させることを望みます。 ・より一層の図書機能の充実を図って欲しい。 ・進学校であること、また、生徒たちの本へのニーズが高まっている実績から、図書費を一昨年時と同じレベルまで戻すように検討して頂きたい。
	図書館の利用促進及び読書指導の研究を行い、本校の特性にあった運営を図る。	C		
	読書、図書館利用の習慣化を図るため、「LHR読書の時間」や「コンテストへの応募」などを実施する。	C		
	鶴岡南高校の情報セキュリティーポリシーの周知と啓蒙を行う。	C		
	学校ホームページの更新をより活発にし、SSHなどの活動を積極的に発信する。	C		
	グループウェアの使い方・デザインなどを研究し、職員相互の情報共有を図る。	C		

達成度

A：目標をはるかに大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重点目標	達成度	成果 (○) と課題 (●)	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
SSH事務局	毎週一度のSSH事務局会、月一度のSSH運営企画委員会を開催するとともに、各学年、各課との情報共有を図りながら全職員体制で事業を進めていく。	C	○事務局で分担しながら各学年の会議や教務課、進路課の会議に参加し、積極的な情報共有を図ることが出来た。	B ・全校体制で活発な活動が行われていると評価します。 ・SSHを通じて、新しい鶴南像が築かれていると思います。より充実したものにしてください。 ・SSHは、卒業生からも「大学や社会で役立つ」という声を耳にする。取り組み時間の確保が難しいと思うが、さらなる充実を目指して欲しい。
	鶴南ゼミでは上学年からの継承およびClassiやSSHだより等による指導で更なる内容の充実を図る。また、発表会等を通じた他校との交流も拡大を目指す。	C	○全職員体制という意味でもゼミやディベートで多くの先生に関わってもらうことができている。 ○3年生からのアドバイスは効果的であったと判断できるものであり、年度初めから計画し来年度もやっていきたい。	
	鶴南ゼミの評価方法、SSH事業の評価方法について研究し、本校の現状に適した評価を目指す。	C	●Classiは機能的な面が更新されていき、使い勝手は良くなっているが、利用の仕方には様々な面で課題が残る。	
	適切な事業運営をしていくために、重点枠の検討も含めた事業の見直しをしていく。	C	○理数セミナーの合同開催(予定)や地域の各種団体、学校関係との連携を充実させることが出来た。また、台湾建国高級中学との姉妹校提携は本校にとって大きな一歩となった。 ○発表の評価方法についての校内研修を行い、教員評価シートの変更を行った。教員間の目線合わせの意味では大変良かった。 ○重点枠については本校の2期目のテーマとしては合致する部分がなく、今期は見送り、3期目に向けて再度検討していく。	
事務部	校内における事故防止のため、保健課との連携を図る。年8回以上の合同安全点検を実施する。	C	○安全点検を毎月実施し、問題箇所については基本的に速やかに対応して、安全確保に努めた。なお、6月の地震により要修繕箇所が発生し、体育館と剣道場の隔壁復旧工事が安全対策で調整が遅れ11月にずれ込んだ。	C ・鶴南の問題ではないと思っていますが、災害への対応・対策は迅速・確実にやっていただけるように、準備しておいて欲しい。
	光熱水・用紙類の使用量は、対前年度使用量の維持に努める。特に、電力使用量については前年度比マイナスを目標とする。	C	○各教員への裏紙使用の協力依頼等により、紙の使用量は概ね昨年並となった。 ○電気の使用量は、震災により6月下旬から11月まで体育館及び剣道場の使用制限が生じたこともあったが、夏季エアコン使用も昨年に比べると減少し、7.3%減となった。	

達成度

A：目標をはるか大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重点目標	達成度	成果(○)と課題(●)	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
1 学年	SSHの趣旨に沿い、「鶴南ゼミ基礎」への興味関心を高めるとともに、「探究的な学び」へ意欲的に取り組む態度を育成する。	C	○「鶴南ゼミ基礎」を通じて、調査方法や効果的な発表法等についての基礎的な知識を獲得した。 ●ほとんどの生徒は充実した学校生活を送っているが、心身の健康がすぐれない生徒が複数名いる。 ●家庭学習時間は、ほとんどの生徒は概ね2～3時間であり、3時間は超えていないようである。 ○進研模試の3教科全国偏差値は、7月は60.3、11月は60.1であった。英語の力を55.9→58.7と大きく伸ばすことができた。	C ・鶴南の1年目の生徒を2年目、3年目につなげる土台づくりをしていただいたと思います。達成度Dについては改善し、目標達成を目指してください。
	出席率99%以上を目指す。	D		
	単位未修得、長期欠席、いじめ等の問題行動「0」を目指す。	D		
	学年PTAの出席率75%以上を目指す。	C		
	部活動加入率90%以上を目指す。	C		
	学習の質(学習方法の確立)と量(授業以外の学習時間3時間)の向上を目指す。	D		
	模擬試験における全体平均偏差値60以上を目指す。	C		
2 学年	心身の健康(特に心の健康)に留意させ、年間出席率99%以上を目指す。	D	●学習不振・人間関係等の理由により、心身の健康が保てない生徒がいる。普段の学習の積み重ね(予復習・課題提出統)が不十分な生徒が見られる。 ○探究活動は、忙しい中でも頑張って発表会までもっていった生徒が多かった。それをもとに、将来の進路に繋げている生徒も多い。 ●3教科の中でも、英語の強化が必要である。 ○学年PTAでは、進路研修、新入試制度関係等を扱ったため、多くの保護者より参加して頂いた。	C ・達成度CとDを比較すると生徒の学校へのモチベーションに開きが出ていると思います。是非その差を縮めて欲しい。
	全員が全ての単位を修得して進級することを目指す。	D		
	具体的な進路目標の設定(将来の社会に貢献できる職業・学部学科・大学・専門分野の研究)と志望理由を明確にさせ、学習のモチベーションを高めさせる。	C		
	進路志望の実現に向けて、日常の授業・鶴南ゼミ・進路研修等を通じて、探究力(課題設定→思考→判断→表現力)の向上の為に主体的な学習(特に学習の質：方法・徹底度)の向上を目指す。	C		
	模擬試験における各教科の平均偏差値60以上を目指す。	D		
	学年PTA出席率70%以上、クラスPTAの出席率50%以上を目指す。	C		
3 学年	SSHで培った個々の能力を、進路実現に積極的にかつ有効に活用する。	C	△SSHでの活動を有効に生かし、AO、推薦入試で合格できた生徒もいたが、以前に比べて全国的にAO、推薦のレベルが上がっているため今後は、より積極的な対策が必要になると思われる。 ○多くの生徒が学習と部活動の両立、学校行事にしっかりと取り組むことができたと思う。 ●模擬試験の、各教科の平均偏差値60以上は、目指してはみたが、達成には至らなかった。	C ・鶴南3年生としての頼もしい姿を拝見しています。是非、次の学年にも引き継いでください。 ・最上級生の自覚を持ち、学校生活に臨む生徒が多いのは、学校の指導が行き届いているからだと推測できる。生徒たちが更なる高みに行けるよう導いて頂きたい。
	全員が評定平均値を上げられるよう、毎日の授業に懸命に取り組む。	C		
	質を重視した主体的な学習を促し、第一志望合格75%以上を目指す。	C		
	模擬試験における各教科科目の平均点偏差値60以上を目指す。	D		
	学習と共に、学校行事、部活動に全力で取り組み、リーダーとしての質を高めさせる。	C		
	心身の健康に留意し、出席率99%以上を目指す。	C		
	学年PTAの出席率75%以上を目指す。	D		

